

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和3年11月24日

計画の名称	北九州港海岸における海岸保全施設整備の推進（防災・安全）																					
計画の期間	平成27年度～令和元年度（5年間）					交付対象	北九州市															
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> 高潮による浸水から、人命・財産を防護するため、海岸保全施設の整備を行う。 海岸保全施設の維持管理計画を策定し、計画的かつ適切な維持管理を図る。 																					
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 護岸を整備することにより、高潮による浸水防護区域面積を105ha（H27当初）から193ha（R1d末）にする。 長寿命化計画策定率を100%とする（0%（H27当初）⇒100%（R1d末）） 																					
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値	備考										
											当初現況値 （H27当初）	中間目標値 （H29末）	最終目標値 （R1末）									
① 高潮による浸水防護区域面積											105ha	128ha	193ha									
② 長寿命化計画策定率 （長寿命化計画策定率 = 評価年度における長寿命化計画策定施設数 / 長寿命化計画を策定する全施設数）											0%	100%	100%									
全体事業費（実施）	合計 （A+B+C）	841 百万円	A	841 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)				0.0%									
事後評価（中間評価）																						
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期																						
事後評価（中間評価）の実施体制										事後評価（中間評価）の実施時期												
【実施体制】 北九州市港湾空港局港湾整備部計画課が事後評価を実施										令和3年度												
【評価値の確認方法】 2名の学識経験者に意見聴取を実施										公表の方法												
										北九州市ホームページに掲載												
1. 交付対象事業の進捗状況																						
交付対象事業																						
A1 港湾事業																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別①	種別②	要素となる事業名	事業内容 （延長・面積・水深等）	市町村名	事業実施期間（年度） 上段：計画 下段：実施					全体事業費（百万円）		継続/完了	進捗状況		備考	
											H27	H28	H29	H30	R1	計画	実施		着手済/全体	進捗度		
A1-1	海岸	内地	北九州市	直接	－	高潮	継続	北九州港海岸高潮対策事業	護岸（改良） L=1,700m	北九州市						1,108	833	継続				
A1-2	海岸	内地	北九州市	直接	－	老朽化	新規	長寿命化計画策定	海岸保全施設 9箇所	北九州市						8	8	完了	2/2	100%		
											小計（港湾事業）											
											合計					1,116	841					
C 効果促進事業																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度） 上段：計画 下段：実施					全体事業費（百万円）		継続/完了	進捗状況		備考		
										H27	H28	H29	H30	R1	計画	実施		着手済/全体	進捗度			
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考								

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					1
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		指標① 完了には至らなかったが、計画的に事業は進捗している。 指標② 対象全施設において長寿命化計画を策定し、地域の安全・安心の確保のため、海岸保全施設の計画的かつ適切な維持管理が図れた。			
II 定量的指標の達成状況	指標① (浸水防護 区域の増加面積)	最終目標値	193 ha	目標値と実績値 に差が出た要因	予算要求は鋭意行ったが、国の厳しい財政状況もあり、対象施設の整備を全て実施するために必要な予算の確保ができなかった。
		最終実績値	160 ha		
	指標② (長寿命化 計画策定率)	最終目標値	100 %	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	100 %		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> ・護岸背後の分譲地の安全性を確保したことで、企業誘致の促進が図れた。 			
3. 特記事項 (今後の方針等)					
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き、高潮対策を着実に進めるとともに、海岸保全施設の老朽化対策を実施し、市民や企業の生命・財産の安全を確保する。 					





